



## ショッピングブログとデジタルサイネージを連携 福岡パルコの最新サイネージシステム

### 「DISE」採用により 27台をコンテンツ連携

2014年11月13日、グランドオープンした「福岡パルコ新館」に、デジタルサイネージソフトウェア「DISE」<sup>※</sup>を活用したデジタルサイネージシステムが計27台導入された。

今回のサイネージシステムは、パルコ社が取り組む、実店舗とWEB、スマートフォンをコンテンツ連携させる先進的なICT戦略の一環として実現したものだ。

新館には、エスカレーター利用者や館外に向けた80インチの大画面ディスプレイなど計17台を設置、また既設の本館でも、以前より設置されている10台のデジタルサイネージを「DISE」によるサイネージシステムに刷新した。

### デジタルサイネージを使った テナント主体の情報操作が可能

福岡パルコに導入されたサイネージシステムの注目すべきは、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)によるWeb連携を実現させているということ。つまり、各テナントのスタッフが定期的に更新するショッピングブログ(新着商品、おすすめコーディネート、飲食店のメニュー、イベント情報など)とデジタルサイネージが連携し、コンテンツが自動で更新される仕組みになっているのだ。これにより、各テナント主体による情報操作が可能となり、パルコ社のICT戦略に、確かな成果と相乗効果をもたらすものと思われる。

※ 香港の地下鉄やトルコのIsbank社、Turkcell社、スウェーデンのTelia社など、アジア・ヨーロッパを中心に数多くの企業に導入されているデジタルサイネージ用ソフトウェア。日本総代理店は(株)ファン・ファクトリー。



福岡パルコは、木目を基調とした新館6Fの「タマリバ6」をはじめ、フロアやゾーンごとに、お洒落でゆとりある空間が広がっている。サイネージの筐体もフロアごとに違っており、特にエスカレーター脇に配置されたサイネージは、壁面の照明と相俟って洗練された空間をつくり出している。



(株)パルコ  
WEBコミュニケーション部  
部長 林直季さん

「ICTを活用して、来館されたお客様へ、テナントショップや全館のイベント情報などをより楽しく、わかりやすく、動画やビジュアルといったリッチコンテンツでプレゼンテーションしたかったので、デジタルサイネージを導入しました。

サイネージでは、放映するコンテンツの鮮度が重要なため、番組編成に自由度があり、弊社のWebサイトとのコンテンツ連携、そして運用のしやすさなどを総合的に判断し「DISE」の採用を決定しました。

入口からエレベーターやエスカレーターなど、お客様の導線をイメージして設置しましたが、期待通り、お客様へのビジュアルプレゼンテーションの効果があると実感しています。」